

# 没後150年“ロッシーニの世界”第3回

## プログラム

今年没後150年の記念の年に当たる、イタリアの作曲家ロッシーニの特集も第3回の今回が最終回です。1813年作の「アルジェのイタリア女」は、海賊に捕われアルジェに連れてこられたイタリア女、イザベラが宮殿で行方不明だった恋人を見つけ、そこから脱出劇を図るといふ喜劇で、“ひどい運命よ”は奴隷となる自分達の不幸を嘆き悲しむ、有名なアリアです。オペラの筆を絶った後に書かれた歌曲は、過去2回取り上げましたが、今回も「老いの過ち」から2曲と、“スペイン風カンツォネッタ”はまだオペラを書いていた1821年の作品です。「アンダンテと変奏曲」の原曲は1819年～1822年に書かれたヴァイオリンとハープのための小品ですが、生き生きとした躍動感に溢れた佳曲。「セミラーミデ」は1823年作のロッシーニのオペラを代表する名作で、バビロニアの女王セミラーミデをめぐる壮大な悲劇。有名な序曲に続く“美しい光が”は愛する若き將軍の帰還の知らせに安堵し、喜びを歌う第1幕の名アリアです。ファゴット協奏曲は1990年代初頭に発見されたオペラの筆を絶った後の1845年頃に書かれた作品で、雄弁なソロと軽快なオーケストラによる掛け合いは、ロッシーニの新たな魅力を発見することが出来ます。2011年に日本初演、現在では、このジャンルの重要なレパートリーとして定着しつつあります。「シンデレラ」はあまりにも有名な名作童話に基づく1817年作の作品。登場人物の優れた性格描写や劇的表現によって上演機会も多い傑作です

\*\*\*\*\*

### ジョアキーノ・ロッシーニ (1792~1868):

#### 歌劇“アルジェのイタリア女”序曲

アンドレ・ブレヴィン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1992.6.14 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

#### 歌劇“アルジェのイタリア女”～第1幕「酷い運命よ」

テレサ・ベルガンサ (メゾ・ソプラノ)/ハインツ・ワルベルク指揮NHK交響楽団  
(1994.3.5 NHKホールでのLive)

#### 歌曲“ソラの歌”(「老いの過ち 第2巻」「フランス風のアルバム」第5曲)

#### 歌曲“さようなら”(「老いの過ち 第2巻」「フランス風のアルバム」第9曲)

#### 歌曲“スペイン風カンツォネッタ”

テレサ・ベルガンサ (メゾ・ソプラノ)/ファン・アントニオ・アルバレス・パレーポ (ピアノ)  
(1995.4.30 南ドイツ、リンカーツィーケルでのLive)

#### アンダンテと変奏曲へ長調

ギドン・クレメル (ヴァイオリン)/アンドレイ・ガヴリーロフ (ピアノ)  
(1978.8.13 サルツブルク祝祭大劇場でのLive)

#### 歌劇“セミラーミテ”序曲

リツカルド・ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(2008.9.23 サントリーホールでのLive)

#### 歌劇“セミラーミテ”～第1幕「美しい光が」

モンセラート・カバリエ (ソプラノ)/オレク・カエターニ指揮オーストリア放送交響楽団  
(1987.1.25 ウィーン・コンツェルトハウスでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### ジョアキーノ・ロッシーニ (1792~1868):

#### ファゴット協奏曲

セルジオ・アッツォリーニ (ファゴット)  
ジョナサン・ノット指揮スイス・ロマンド管弦楽団  
(2017.11.1 ジュネーヴ、ヴィクトリアホールでのLive)

#### 歌劇“シンテレラ(チェネレントラ)”

序曲～第1幕“昔あるところに王子さまが”(シンテレラ)～二重唱(シンテレラ/王子)～フィナーレ

第2幕 六重唱～“悲しみと涙のうちに生まれ”(シンテレラ)～フィナーレ

エリーナ・ガランチャ (ソプラノ…シンテレラ)/ローレンス・ブラウンリー (テノール…王子)  
アレッサンドロ・コルベルリ (バリトン…継父)/シモーネ・アルベルギーニ (バリトン…王子の従者)  
ラシエル・ダーキン (ソプラノ…姉クロリンダ)/パトリシア・リスキー (メゾ・ソプラノ…姉ティスベ)  
マウリッツォ・ベニーニ指揮メトロポリタン歌劇場管弦楽団/メトロポリタン歌劇場合唱団  
(2009.5.9 メトロポリタン歌劇場でのLive)